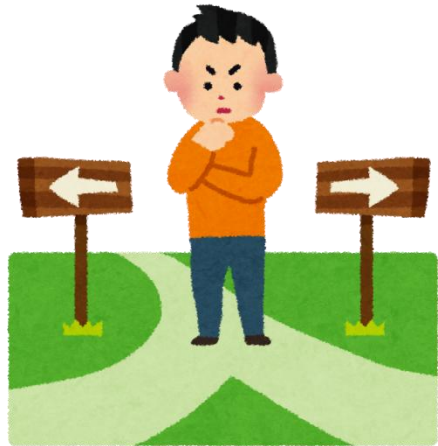


# 心の輪13R

自分の生き方をより深く考えるための材料とするために道徳通信を出していこうと思います。通信の名前は「心の輪」。道徳の授業で友達が、どんなことを感じ、考えていたのかを振り返りながら、お互いの「心」をつなぎ、「輪」を広げて欲しいという思いでこのタイトルにしました。自分や友達について、新たな発見が生まれたりいいなと思います。



## 道徳の授業は何を考えるの？



道徳の授業を通して考えること。それはズバリ『**自分の生き方**』です。自分にとってよりよい生き方とは、どんな生き方なのか。その生き方をするために、自分が大切にしたい『**考え方**』、『**心の在り方**』とは何かを考え、自分自身を磨く時間が道徳の時間です。

**生き方に正解はありません。**人の数だけの生き方があります。たくさんの生き方がある中で、自分はどんな生き方を選びますか？選ぶためには、たくさんの価値観や考え方に触れることが必要です。今の自分にはない価値観や考え方に触れるために、授業の中では**たくさん考え、話し合いましょ。**



**君たちはどう生きるか？**

『**美しく自分を染めあげて下さい**』という資料を通して、「**3年間の中学校生活でどんな自分になりたいか**」について考えました！

中学校を卒業するときには、後輩が憧れるような人になりたいと思う。そして、自分を美しく染めあげるために、友達を大切にしていきたいと思う。

自分を美しく染めあげるためには、人のことをいたわり、自分を鍛えること、人とよく関わることが必要ということが分かった。また、自分を美しく染めあげるためには、差別したり、嘘をついたりしない素直な人になることが大切だということが分かった。

中学校生活で、人に親切にしたり、みんなと平等に接したりして、自分を美しく染めあげたい。当たり前のことを当たり前でできる人になりたい。また、嘘をつかずに、正直・素直になりたい。

中学校を卒業するまでに、3年生などになったら後輩ができ、部活などでたくさん交流するので、分からないことを教えたり、助けたり、当たり前でできるように頑張っていきたい。

3年後、みんなに「すごい！」と言われるような人になるために、今日学習したことを実際にしていけたらいいなと思った。ルールやマナーは必ず守ろうと思った。

美しく自分を染めあげるためには、相手の気持ちを考え、思いやりを持ち、元気いっぱいみんなの笑顔にすればいいということが分かった。

美しく自分を染めあげるには、自律していくことや、当たり前ができるということが特に大切だと思った。

美しく自分を染めあげるために、相手の気持ちを考えたり、努力したりして、中学校を卒業するときに、1学年目標の「一言一行」ができるようになります。

自分を美しく染めるには、相手のことを考えたり、人を大切にしたり、人として当たり前のことをしたりすることによって、美しく染めることができると思う。

しっかりと周りを見て、色んな人々が過ごしやすいように、積極的に行動して、色んな人の役に立つことができるような人になりたい。